

庄原市立庄原中学校 第1学年 英語科学習指導案

単元名：POWER UP⑩「Speaking 買い物①（Tシャツを買う）」

日 時 令和2年12月17日（木）2校時
 場 所 英語教室1（1年5組教室）
 学 年 1年1組 発展コース（男子8名，女子12名，計19名）
 単元名 POWER UP⑩ Speaking 買い物①（Tシャツを買う）（SUNSHINE ENGLISH COURSE 1）

単元について

本単元では、買い物特有の表現を使い、店員と客になりきってやり取りをすることで、学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編の（3）話すこと [やり取り]「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする」力を身に付けさせることをねらいとしている。

「日常的な話題」とは、生徒の日々の生活に関わる話題のうち、生徒自身や家族に関すること、生徒の興味・関心となることや社会生活に必要なことを扱うこととされている。そこで、本単元では、クリスマスパーティーの参加者それぞれの好みに合ったピザにするために、食材を買うやり取りをし、パーティーを成功させよう！というゴールを設定する。買い物という即興的なやり取りにとどまらず、参加者の好みを把握し、店員からの質問に応答するなどして相手とのやり取りを展開していく力を身に付けさせることを本単元のねらいの一つとする。

また、言語材料では、小学校で学習した What would you like?や I'd like～., I want～.などの表現に加え、自分の欲しいものを具体的に伝えたり、複数のものの値段を尋ねたりする表現を学習するため、既習表現と結び付けた発展的な学習活動ができる単元である。

生徒観

以下の表は、令和2年7月と、11月に実施した「英語科授業アンケート」の肯定的評価の割合を示したものである。

	質 問 項 目	7 月	1 1 月
1	英語の勉強は好きです。	100%	89.4%
2	英語の授業はよく分かります。	100%	100%
3	英語を使って相手とやり取り（会話）をすることは楽しいです。	100%	83.3%
4	英語の授業で学んだことを使って、自分の考えや気持ちなどを表現しています。	95%	100%
5	分からない表現があっても、どうにかして英語で伝えようとしています。	95%	83.3%
6	分からない表現や困ったことがあるとき、ペアやクラスでシェアをするとよく分かります。	95%	100%
7	英語の授業に関して【こんなことがしてみたい、こんなことを頑張りたい】 <ul style="list-style-type: none"> ・色々な人とペアトークがしたい。 ・誰とでも会話を広げられるようにしたい。 ・もっと楽しく会話が続くように、色々な表現を使って話すことを頑張りたい。 ・話す活動のときに、会話が止まってしまうから続けて話せるよう頑張りたい。 ・中学校の英語の授業が始まって何か月も経つので、疑問文やその答え方が分からなくならないように気をつけたい。 ・相手とやり取りをするときに、詳しく話したりできる力をつけたい。 ・積極的に相手に質問できるようになりたい。 		

（発展コース 19名）

本学級の生徒は、習熟度別の発展コースの生徒である。どの項目でも、肯定的評価が高く、英語の勉強に対して意欲的に取り組む生徒が多い。しかし、7月時点のアンケートと比較すると、(3)「英語を使ってやり取りをすることは楽しいです。」の項目が下がっていることが分かる。7月時点では、やり取りを続けることの楽しさに気づき始めた生徒が増えた。最近ではペアでのやり取りをもっと弾ませたい、どうやったら弾ませることができるのか…と具体的な方法まで考える生徒が増えてきた。しかし、いざペアとのやり取りやパフォーマンステストになると、思うようにやり取りを続けることができなかつたり、リアクションがワンパターンになってしまつたりすることにもどかしさを感じる生徒もいる。

自由記述からも分かるように、英語での会話を頑張りたい、会話を続けたい、会話を弾ませたいと感じている生徒がほとんどであるが、既習表現を用いたやり取りの達成感や喜びを十分にもてていないことには課題がある。

生徒実態からみる指導上の課題

【指導上の課題】

生徒にやり取りの必然性を持たせるような目的・場面・状況の設定が十分にはできておらず、会話が一问一答形式の短い会話になっている。また、会話を弾ませ、やり取りを続けるためには何が必要かを既習表現と結びつけながら考えさせることが十分とは言えない。

【指導改善のポイント】

① 課題設定の工夫

目的・場面・状況を身近で親しみ・興味が持てるものにするすることで、楽しみながら、自分事として課題をとらえ、必然性のあるやり取りを行わせる。

② 上手くいかない場面の意図的な設定

上手くいかない場面を意図的に設定することで、生徒に課題意識をもたせ、既習表現の中から使える表現はないかを即興的かつ柔軟に考えさせるようにする。

③ 振り返りの充実

生徒が書いた評価シートの振り返りを取り上げ、生徒のつまずきや上手くいかなかったところだけでなく、成功体験もクラスで共有し、基礎・基本的な知識の定着を図るとともに、仲間と協力して学びに向かう良さを感じさせる。

本校で身に付けさせたい資質・能力

庄中FIND	表現力	行動力	協働する力	貢献（自己肯定感）
課題に対して、自分なりの答えを探索しようとしている。	既習事項を使って、その場に応じた表現をすることができる。	積極的に相手とコミュニケーションを取ろうとしている。	仲間と積極的に交流し、より良い解決策を導き出そうとしている。	仲間とのやり取りの中で自分の役割を自覚し、相手意識を持ちながら、会話を続けようとしている。

単元の目標と評価規準

<単元の目標>

- 【コ】間違いを恐れずに、積極的にやり取りをする。
- 【表】条件に応じたものを買うために、店員に質問をしたり、自分の意見を伝えたりしながらやり取りをする。
- 【知】買い物のやり取りに必要な表現についての文の形・意味・用法を理解する。

<評価規準>

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
間違いを恐れずに、積極的に買い物のやり取りをしようとしている。	条件に応じたものを買うために、店員に質問をしたり、自分の意見を伝えたりしながらやり取りをすることができる。	/	Can I help you? / How much is it? / Here you are. などの文の形・意味・用法を理解している。

パフォーマンステスト（課題）

【 課題 】 コミュニケーションの 目的・場面・状況	この冬休みに、あなたの家に海外から留学生が遊びに来ることになりました。ウェルカムパーティーを開くこととなり、それぞれが食材を持ち寄り、ディナーを手作りします。みなさんはサンドウィッチ作りの担当となりました。留学生の情報をもとに、店員に欲しいものを伝えたり、どんなものがあるのかを尋ねたりしながら、好みのサンドウィッチにするため、食材を買うやり取りをしましょう。	
評価の観点	外国語表現の能力【話すこと（やり取り）】	
A 様々な既習表現を用いて、会話や話題を広げ、より分かりやすくALTに欲しいものを伝えたり、どんなものがあるのか尋ねたりする。	<p>J…ジョン先生（店員） J : Hello. Can I help you? J : OK. But we have many kinds of ham here. So, what kind of ham are you looking for?</p> <p>J : Let's see. OK. How about this one? J : How many hams do you want? J : OK. Anything else? J : 300 yen, please. J : Thank you. This is your ham. Here you are. J : You too.</p>	<p>S…生徒 S : Yes. I'm looking for a ham.</p> <p>S : I'm looking for a ham from Japan. It's delicious. Do you have it? / Which ham do you have?</p> <p>S : Nice! S : I want three hams, please. S : That's all. How much are they? S : OK. Here you are.</p> <p>S : Thank you very much. Have a nice day.</p>
B 適切な表現を用いて、欲しいものを伝えたり、どんなものがあるのか尋ねたりする。	<p>J : Hello. Can I help you? J : OK. But we have many kinds of ham here. So, what kind of ham are you looking for? J : Let's see. OK. How about this one? J : Do you like a ham?</p> <p>J : Great. How many hams do you want? J : OK. Anything else? J : 300 yen, please. J : Thank you. This is your ham.</p>	<p>S : Yes. I'm looking for a ham.</p> <p>S : I'm looking for a ham from Japan.</p> <p>S : Good. Thank you. S : Yes, I do. Our guest likes a ham, too. S : I want three.</p> <p>S : That's all. How much are they? S : Here you are. S : Thank you.</p>
C	欲しいものを伝えたり、どんなものがあるのか尋ねたりするために必要な表現を用いることができていない。	

小学校外国語を踏まえた指導の工夫

①小中の接続を意識した言語材料

We Can! 1,2 / NEW HORIZON Elementary English Course ⑤, ⑥	We Can! 1,2 → 中学校 / NEW HORIZON Elementary English Course ⑤, ⑥ →中学校	中学校
≪Unit 8: What would you like?≫ What would you like? I'd like~.	何が好きかについて質疑応答したり、値段を尋ねたりする簡単なタスクから、I'm looking for~.などの表現で自分の意思を伝えるなど、より自然な会話につながる。	Can I help you? I'm looking for~. What color do you want? I want A or B. How about this? How much is it? Here you are.
≪⑤Unit 6: What would you like?≫ What would you like? I'd like~. How much is the~?		

②CAN-DO リストの学習到達目標

【後期】

- ・ 聞くこと…
日常生活で行われる会話において、基礎的な表現と小学校で学習したなじみのある発音でゆっくりはっきり話されれば、大まかな情報を理解することができる。
- ・ 話すこと [やり取り] …
身近な人と家族、友人、学校などに関する話題について、基礎的な語句や表現を用いて、簡単なインタビューをすることができる。

単元計画

(全5時間)

時数	目標・課題 (◎) ・主な学習内容 (*) 予想されるふり返り (○)	評価規準・評価方法	庄原中学びのプロセス
1	<p>【目的・場面・状況】 みなさんは2学期末に行われるクリスマスパーティーに招待されました。そのパーティーでは、参加者が食材を持ち寄り、ディナーを手作りします。みなさんはピザ作りの担当になりました。しかし、パーティーの参加者の好みはそれぞれ違います。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>★単元のゴール クリスマスパーティーの参加者それぞれの好みに合ったピザにするために、食材を買うやり取りをし、パーティーを成功させよう！</p> <p>◎ 買い物のやり取りをするための表現を知り、ペアでやり取りできる。</p> <p>* 小学校で学習した買い物の表現を振り返り、覚えている表現を全体でシェアする。</p> <p>Q: 「今日先生は同じ学年の先生に買い物を頼まれました。先生が買わないといけないものはこれ(おつかいカードを見せながら)です。先生とジョン先生はどんなやり取りをしているのでしょうか。」</p>	(イ) 行動観察 (エ) 授業ノート ワークシート	・ 課題をつかむ (参加者の情報を整理し、それを伝えられるような買い物の表現を知らなければならない。)

	<div data-bbox="236 170 940 633" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : Hello. J : Hello. <u>Can I help you?</u> T : Yes. <u>I'm looking for</u> carrots. J : OK. <u>How many carrots</u> do you want? T : <u>I want</u> two carrots. J : OK. How about these ones? T : Nice! <u>How much are they?</u> J : They are 200 yen. T : OK. Here you are. J : Thank you. These are your carrots. T : Thank you very much.</p> </div> <p>* ジョン先生と教師とのやり取りを聞き、どんなことを話していたか、どんな表現がふさわしいかについて考える。 * “Can I help you?”, “I'm looking for ○○.”, “I want ○○.” などを使って、それぞれに配布されている【シチュエーションカード】の買い物のやり取りに挑戦する。</p> <div data-bbox="236 853 940 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S 1 : Hello. S 2 : Hello. <u>Can I help you?</u> S 1 : Yes. <u>I'm looking for</u> potatoes. S 2 : OK. <u>How many potatoes</u> do you want? S 1 : <u>I want</u> two potatoes. S 2 : OK. How about these ones? S 1 : Nice! <u>How much are they?</u> S 2 : They are 100 yen. S 1 : OK. Here you are. S 2 : Thank you. Here you are. (お金を渡す) S 1 : Thank you very much. See you.</p> </div> <p>* シチュエーションカードの状況を読み取り、買い物のやり取りができたか振り返る。</p> <div data-bbox="236 1491 940 1715" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : S 1 さん, What did you buy? S 1 : I bought potatoes. T : Good! But why did you buy potatoes? S 1 : Because this woman wants potatoes. T : Good thinking!</p> </div> <p>○ 小学校で学習した表現も思い出しながら買い物のやり取りができたので良かった。 ○ シチュエーションカードの状況から、じゃがいもを買わないといけないと考えてやり取りをすることができた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 解決方法を思考する ・ 思考したことを実行する ・ 挑戦する ・ 振り返る
2	<div data-bbox="209 1924 1222 1991" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;"> <p>◎ 教科書の本文を読み、やり取りに使える表現を増やすことができる。</p> </div> <p>* 教科書の本文の内容から、買い物のやり取りに使える表現を考える。</p>		

	<p>A : Can I help you? B : Yes, please. I'm looking for a T-shirt. A : What color do you want? B : I want a red one or a blue one. A : OK. How about this one? B : Yes, that's nice. How much is it? A : Twenty dollars. B : OK. Here you are. A : Thank you very much.</p> <p>*教科書のやり取りから、新しく学習した表現について振り返る。 ○欲しいものの種類がいくつかあるときは、“or”を使って「赤か青が欲しい」と伝えればいいことが分かったので次の買い物のやり取りでも使っていきたい。</p>	<p>(イ) 行動観察 (エ) 授業ノート ワークシート</p>	
<p>3</p>	<div data-bbox="204 741 1222 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎ インタビュー内容から参加者の好みを知り、パーティーに必要な材料を考え、お店の人とやり取りができる。</p> </div> <p>*クリスマスパーティーの参加者と教師のやり取りをリスニングし、何をかうべきか考える。</p> <p>Q : 「前回の買い物のやり取りでは、みなさんはシチュエーションカードの状況をもとにやり取りをしました。今日はクリスマスパーティーに向け、参加者と先生のあるやり取りを見せます。そのやり取りをよく聞いたあと、買い物のやり取りに挑戦しましょう。」</p> <div data-bbox="212 1196 1206 1711" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【参加者と教師のやり取り】 T : Hello. S先生。 S : Hello. T : We're going to have a Christmas party in the end of this semester. S : Yes! I can't wait for it! T : So, for the Christmas party, can I ask some questions? S : Of course. T : Thanks. What kind of pizza do you like? S : I like seafood pizza. T : What seafood do you like? S : I like squids. Also, I like octopus. But I don't like shrimps. T : OK. Thank you.</p> </div> <p>*インタビュー内容をもとに買い物のやり取りに挑戦する。</p>	<div data-bbox="963 1715 1490 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T先生と先生のやり取りは聞き取れたかな? (クリスマスパーティーのことを話していたな…) (T先生はシーフードピザが好きみたいだ。) (好きな魚介類をピザにトッピングしてあげたいから…。)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をつかむ ・解決方法を思考する ・思考したことを実行する ・予想と違う解が生まれる ・再思考する

	<p>S 1 : Hello. S 2 : Hello. <u>Can I help you?</u> S 1 : Yes. <u>I'm looking for</u> squids. S 2 : OK. <u>How many squids</u> do you want? S 1 : <u>I want</u> two squids. S 2 : OK. Anything else? S 1 : I want octopuses, too. S 2 : How many octopuses do you want? S 1 : Three, please. S 2 : How about these ones? S 1 : Nice! <u>How much are they?</u> S 2 : They are 600 yen. S 1 : OK. Here you are.</p> <p>*インタビュー内容をもとに買い物のやり取りができたかどうか、やり取りで気をつけたことは何か振り返る。</p> <p>○インタビューの映像を見て、S先生はイカが好きだと思ったのでイカを買うことにした。 ○エビは嫌いだと言っていたので買わないようにした。S先生の好みをよく考えて買い物できた。 ○A先生の好きなものだけだと色合いのバランスが悪いと思ったので、トマトも追加で買ってみた。喜んでもらえるピザにしたい。</p>	(イ) 行動観察 (エ) 授業ノート ワークシート	・挑戦する ・振り返る
4	「本時の展開を参照」		
後日	パフォーマンステスト（実技テスト） ※後日ペーパーテストも実施する。	(イ) 行動観察 (エ) ワークシート	

本時の学習

(1) 本時の目標

○これまでに学習したことを生かし、店員との会話を弾ませながら、パーティーの参加者の好みに合わせて買い物のやり取りをする。

(2) 「庄原中授業プロセス」を取り入れた工夫

1. 課題をつかみ、やってみる	2. 疑問が生まれる	3. 再思考する	4. 再思考したことをもう一度実行する	5. 振り返る
めあてを確認し、前時までに学習した方法を使ってペアでやり取りをする。	前回よりも参加者の情報が増え、好みに合わせた買い物をするための表現方法が分からない。 【困り感】	個人で再度思考し、その後ペア、クラスで再思考する。	既習内容を使って表現を再構築し、再挑戦する。	前回と比較し、より良く自分の欲しい食材を伝えたり、相手に尋ねたり、自分の気持ちを伝えたりすることを通して会話を弾ませることができたかを振り返る。

(3) 本時の評価規準

○間違いを恐れずに、今までに学習した表現を用いて、積極的に買い物のやり取りを続けようとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○条件に応じたものを買うために、店員に質問をしたり、自分の考えや気持ちを伝えたりしながらやり取りをすることができる。

【外国語表現の能力】

(4) 準備物

○ワークシート, 電子黒板, iPad, 食材カード

(5) 本時の展開

主な学習活動（＊）	指導上の留意事項（◇） 支援を要する生徒への手立て（◆） 予想されるふり返り（○）	評価規準 評価方法	庄原中授業 プロセス
1 Small Talk（5分）			
＊学習した内容を用いて、Small Talk をする。	◇“Original pizza for my teacher.”のテーマで Small Talk をさせる。 ◇自分が欲しい食材やその数を伝えたり、値段を尋ねたりする表現を使ってやり取りさせる。 ◇小学校で学習した内容や、既習表現を使いながらやり取りをさせる。 ◆やり取りに困っている生徒がいたら、机間指導を行いながらヒントとなる情報を与えるなどする。		
S 1 : Hello. S 2 : Hello. Can I help you? S 1 : Yes. I'm looking for squids. S 2 : OK. How many squids do you want? S 1 : I want two squids. S 2 : OK. Anything else? S 1 : I want octopuses, too. S 2 : How many octopuses do you want? S 1 : Three, please. S 2 : How about these ones? S 1 : Nice! How much are they? S 2 : They are 600 yen. S 1 : OK. Here you are. S 2 : Thank you. Here you are. S 1 : Thank you very much. See you.			
2 Today's Goal（5分）			
＊前時の復習をする。 ＊めあてを確認する。	◇Small Talk でのやり取りや前時の振り返りから、本時のめあてを確認させる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">課題をつかむ</div>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【めあて】パーティーの参加者が喜ぶピザの完成に向け、店員との会話を弾ませながら、買い物のやり取りができる。</div>			
3 Activity①（10分）			
＊新たに加わったパーティーの参加者が気に入るピザにするためにやり取りを行う。	◇ペアで「お客」、「店員」になりきり、買い物のやり取りをする。 ◇最初から助言はせず、会話の流れを簡単に確認し、まずは生徒にやり取りをさせる。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【参加者の情報】 ○シーフードが好き。 ○特にエビが好きだが、国産かベトナム産のエビが良い。 ○イカは苦手。なるべくたくさんの種類のシーフードが食べたい。 ○チーズ（特にモッツアレラチーズ）が好物。など </div>			

<p>【生徒のやり取り（1回目）の例】</p> <p>S 1 : Hello. Can I help you? S 2 : Yes. I'm looking for seafood. S 1 : What seafood do you want? S 2 : I want shrimps. S 1 : OK. (産地が異なるエビがあるけれど…) How about these ones? S 2 : (オーストラリアと書いてある…) Oh... I'm looking for Japanese shrimps. S 1 : Sorry. We don't have them. S 2 : Oh, I see. (エビを買ってあげたいけど産地が違うから…) I want shells. S 1 : OK. How about these ones? S 2 : Nice. S 1 : How many shells do you want? S 2 : Three, please. S 1 : OK. Anything else? S 2 : No. How much are they? S 1 : 300 yen, please. S 2 : Here you are. S 1 : Thank you. These are your shells. S 2 : Thank you very much. (産地はどうやって聞けば良かったんだろう…)</p>	<p>やってみる</p> <p>疑問が生まれる</p>	
<p>4 上手くいかない&疑問 (10分) 個人思考 →ペアで協議</p>		
<p>*良かったこと・上手くいかなかったこと、疑問点をシェアする。</p>	<p>◇困ったことや疑問点があれば全体交流させ、最善解を考えさせる。 ◇良かったことも全体交流させ、自信を持ってやり取りができるように促す。 ◇良い改善策が出ない場合は、教師がアドバイスする。</p>	<p>疑問点や上手くいかない場面のシェア</p>
<p>【予想される困り感・上手くいかない場面①】</p> <p>T : How was your shopping? Do you have any questions or problems? S 2 : I have a question. T : OK. What is your question? S 2 : 前回と違って、参加者の好みの情報に産地が増えていました。オーストラリア産のエビを渡されたけれど、国産のエビが好きだと書いてあったので、店員さんに「国産のものはありますか?」と尋ねたかったのですが、どう伝えたら良かったのでしょうか。 T : Good question! ちなみに S 2 さんはどのように伝えたの? S 2 : I'm looking for Japanese shrimp.と言いました。 T : Nice expression! もちろんその表現でも伝わるね。ほかに産地を伝えようと思ったらどんな表現があるかな? Please share your ideas with your pairs. S 3 : 産地ということはどこから来たものかってことだよ。来るは come from? S 4 : from だけで「~から」じゃなかったかな? Shrimps from Japan? S 3 : 「~はありますか。」と尋ねたいから、Do you have が使えないかな? T : Good ideas! S 4 さんが言うように、I'm looking for shrimps from Japan. で産地を伝えることができるし、S 3 さんが言った表現を使って、Do you have shrimps from Japan? で店員さんに尋ねられるね。 使える表現をどんどん使ってやり取りを続けていこう! Then, the second challenge, let's start!</p>		

【予想される困り感・上手くいかない場面②】

S 1 : さっきのやり取りでは店員役をしました。店員側は種類を分かっているので「どのエビが良いですか。」と聞けたと思います。
 T : Such a nice idea! 確かにそうだね。種類を示しながらどれがいい?と尋ねるにはどんな方法があるかな?
 S 3 : どのだから疑問詞の which が使えないかな? Which shrimp do you want?
 S 4 : いいね! お客側も「どんな種類のエビがある?」って聞いてもいいのかも!
 What kind of ~?が使える気がするけど…
 T : 今まで習ったことをよく覚えているね! 使える表現をどんどん使ってやり取りを続けていこう!
 Then, the second challenge, let's start!

【予想される困り感・上手くいかない場面③】

S 2 : 前回と違って、参加者の好みの情報に産地が増えていました。「国産のものはありますか?」と尋ねたところ、その品はないと言われ、エビを買うことができませんでした…
 T : I see. Today's Goal is 「参加者が喜ぶピザの完成に向け、…」ということは、好みの材料をピザに加えたいね。みんなだったらどうする? Look at this room. 今日買い物できるお店がたくさんあるね。
 S 3 : どこで買えるか聞いて、他のお店で買えばいいんじゃないかな?
 S 4 : 「どこ」ってことは…Where? 「買える」だから I can buy?
 S 2 : そうか! 疑問文だから Where can I buy shrimps?かな?
 T : Great! 使える表現をどんどん使ってやり取りを続けていこう!
 Then, the second challenge, let's start!

5 Activity② (15分)

* 1回目は同じペア, 2回目, 3回目はペアを変えてやり取りに再挑戦する。

- ◇ 1回目は同じペア, 2回目は役割を変え, 再挑戦させる。
- ◆ 使える表現を黒板に掲示しておく。
- ◆ 文で伝えることが難しい場合, 単語やジェスチャーで伝えることもできるとアドバイスする。

(ア) 行動観察
(イ) 行動観察

【生徒のやり取り (2回目) の例】

S 2 : Hello. Can I help you?
 S 1 : Yes. I'm looking for seafood.
 S 2 : What seafood do you want?
 S 1 : I want shrimps.
 S 2 : Which shrimps do you want?
 S 1 : I'm looking for shrimps from Japan or Vietnam.
 Do you have shrimps from Japan or Vietnam?
 S 2 : Sorry. We don't have them.
 S 1 : Where can I buy it?
 S 2 : ○○'s shop.
 S 1 : Nice. Also, I want cheese from Hokkaido.
 S 2 : OK. How many cheeses do you want?
 S 1 : I want three cheeses.
 S 2 : OK. Anything else?
 S 1 : That's all. Thank you. How much are they?
 S 2 : 500 yen, please.
 S 1 : Here you are.
 S 2 : Thank you. Here you are.
 S 1 : Thank you very much.

再思考したことをもう一度実行する

	<p>◇会話が弾むとはどういうことかについて考えさせる。</p> <p>◇評価シートやこれまでのパフォーマンステスト後の振り返りのコメントから、自然なやり取りをし、会話を弾ませるために必要なことについて再度確認させる。</p> <p>【あいづち、聞き返し、相手への質問など】</p> <p>◆使える表現を黒板に掲示しておく。</p>		
<p>【生徒のやり取り（別のペア）の例】</p> <p>S 1 : Hello. Can I help you?</p> <p>S 2 : Yes. I'm looking for seafood.</p> <p>S 1 : What seafood do you want?</p> <p>S 2 : I want shrimps.</p> <p>S 1 : Which shrimps do you want?</p> <p>S 2 : I'm looking for shrimps from Japan or Vietnam. Do you have shrimps from Japan or Vietnam?</p> <p>S 1 : Yes. Do you like shrimps?</p> <p>S 2 : Yes, I do. Our guest likes shrimps too.</p> <p>S 1 : Nice. OK. How about these ones?</p> <p>S 2 : Great! Also, I want cheese from Hokkaido.</p> <p>S 1 : OK. How many cheeses do you want?</p> <p>S 1 : I want three cheeses. Our guest likes cheese very much.</p> <p>S 2 : Oh, I see. OK. Anything else?</p> <p>S 1 : That's all. Thank you. How much are they?</p> <p>S 2 : 500 yen, please.</p> <p>S 1 : Here you are.</p> <p>S 2 : Thank you. Here you are.</p> <p>S 1 : Thank you very much.</p>		<p>再思考したことをもう一度実行する</p>	
<p>6 まとめと振り返り（5分）</p>			
<p>*Evaluation Sheet に本時の振り返りを書く。</p>	<p>◇評価シートにできたことや使えた表現、難しかったことなどを記入させる。</p> <p>◇まとめや振り返りから、本時の学習をどのように生かせるか考えさせる。</p> <p>◇パフォーマンステストの連絡をする。</p>		<p>振り返る</p>
<p>【予想される生徒の振り返り】</p> <p>～振り返りのポイント～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した表現を使って、新たな参加者が気に入るようなピザの材料を買うやり取りができたか。 ・会話を弾ませるために、様々な表現を使うことができたか。 <p>○ これまでは、相手に質問されても Oh, I see. とかしかリアクションできなかったけれど、That's nice! や Our guest likes ～. を使って会話を弾ませることができたと思うので良かった。また、参加者の好みの情報が新しく増えて最初は困ったけれど、今までに学習した表現で通じることが分かったので、これからは会話で様々な表現を使っていきたい。</p> <p>○ From ～. で産地を表すことができ、店員役の人に欲しい材料のことを具体的に伝えられたので良かった。きっと喜んでもらえるピザになると思う。</p> <p>○ 自分が店員役をしたときは、相手が I want shrimp from Vietnam. と言うのを待っていたけれど、S 2 さんは店員役のときに Which shrimp? を使っていたので、次に自分が店員役をするときは使ってみようと思った。</p> <p>○ I see. や Nice. Good. くらいしかリアクションが取れなかった。もっと楽しく会話を続けられるように、次は新しく学んだ表現を1つでもいいから使ってみようと思う。</p>			

板書計画

Today's Goal : パーティーの参加者が喜ぶピザの完成に向け、店員との会話を弾ませながら、買い物を取り取りができる。

本時の流れ

Useful Phrases
※段階的に外したり隠したりする。

やり取りの流れ

<Questions & Problems>

